



関川村

第68号

議会だより

平成19年7月13日
発行/関川村議会
発行/議長 近 良平
責任者
編集/広報対策
特別委員会

〒959 3292 新潟県岩船郡関川村大字下関912番地

TEL(0254)64-1494(直通)
FAX(0254)64-3006



それぞれの目標に向かって快走

大石ダム湖畔 UP・DOWN 関川マラソン(6月17日)

6月定例会報告

一般質問 11名登壇

荒川郷町村議会議員協議大会

(議会だよりは村ホームページの議会事務局上に掲載しています)

平成19年6月定例議会

一般会計補正予算(第1号)

390万円減額

総額 42億4,610万円

六月定例議会が十四日から二十一日までの八日間の会期で開かれました。

村長の招集のあいさつに続き、十一議員が一般質問に立ち、村長の考えをただしました。

提案された議案は、報告六件、承認十件、条例等一部改正四件、その他案件五件、補正予算案件五件、請願一件、陳情一件は原案どおり可決されました。

一般会計補正予算

総務費

むらづくり総合推進事業費補助金

・松ヶ丘・金俣集落センタートイレ改修費等

五十七万四千元

テレビ難視聴地域電波状況調査委託料等

五十五万七千元

民生費

地域生活支援事業委託料

四百十二万三千元

農林水産業費

指定教習射撃場解体事業補助金

助金

二十三万円

関川村農業基盤整備事業補助金

九十五万円

元気な地域づくり交付金基金整備事業補助金

六十万一千元

流域公益保全林整備事業補助金

二百八十四万九千元

商工労働費

観光ポスター等印刷製本費

四十二万円

村有観光施設管理委託料

四十九万一千元

土木費

測量調査委託料

五十八万八千元

除雪機械購入費

一千六百万円

消防費

新潟県市町村総合事務組合負担金

新潟県市町村総合事務組合負担金

八十二万円

教育費

スクールガードリーダー等謝金

三十三万円

映画上映等委託料

四十五万円

仲間と学ぶ豊かな宿泊体験事業費

二百八十七万四千元

特別会計補正予算

関川村国民健康保険事業特別会計

特別会計

百九十万七千円追加

関川診療所改修工事費用

繰入金

関川村国民健康保険関川

診療所特別会計

百五十万円追加

関川診療所改修工事費

関川村老人保健特別会計

百六十四万八千円追加

支払い基金精算返還金



わかぶな高原スキー場の未来は...

専決処分

関川村税条例の一部を改正する条例

関川村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

平成十八年度関川村一般会計補正予算(第十三号)

平成十八年度関川村国民健康保険事業特別会計補正予算(第四号)

平成十八年度関川村老人保健特別会計補正予算(第四号)

平成十八年度関川村介護保険事業特別会計補正予算(第五号)

平成十八年度関川村簡易水道特別会計補正予算(第三号)

平成十八年度関川村公共下水道事業特別会計補正予算(第五号)

平成十八年度関川村農業集落排水事業特別会計補正予算(第二号)

議員発議

関川村議会議規則の一部を改正する規則

・地方自治法の改正及び次回一般選挙からの議員定数削減に伴う改正

平成十九年 第七回臨時会

七月三日、臨時会が開催されました。

提案された議案は、村一般会計補正予算案件一件と、要請一件で、それぞれ可決されました。

ほかに、近辰美議員外二名から、下記の提案理由により山口和夫議員に謝罪を求め、決議案が提出され、可決されましたが、山口和夫議員から謝罪はありませんでした。

提案理由

去る、六月二十一日の山口和夫議員のセクハラ発言は、新聞に大きく報道され、村議会を大きくイメージダウンさせました。

地域紙社へは謝罪したとは聞いておりますが、我々議会にも、この場で謝罪してもらおうことの決議案を提出いたします。

関川村議会議員会条例の一部を改正する条例

・次回一般選挙後から議員定数が減ることによる常任委員会の定数を定める改正
総務厚生常任委員会 六人
産業建設常任委員会 六人

新潟県後期高齢者医療 広域連合議会議員選挙

新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員に関川村からは近良平議員(現議長)が指名推薦され、全会一致で当選しました。

計画策定・変更

審議の結果、いずれも可決されました。

幾地辺地に係る公共施設の総合整備計画の策定

片貝辺地に係る公共施設の総合整備計画の策定

金丸辺地に係る公共施設の総合整備計画の策定

女川東部辺地に係る公共施設の総合整備計画の策定

過疎地域自立促進計画の一部変更

請願・陳情

いずれも採択し、意見書関係機関へ提出しました。

請願

三十人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願

陳情

アメリカ産牛肉の輸入案件の緩和に反対し、国内での全頭検査を維持する予算措置の継続を求める陳情

報告案件

財団法人関川村自然環境

管理公社の経営状況報告

岩船地域土地開発公社の

経営状況報告

平成十八年度関川村一般会計繰越明許費に係る繰越額の報告

平成十八年度関川村国民健康保険事業特別会計繰越明許費に係る繰越額の報告

平成十八年度関川村老人保健事業特別会計繰越明許費に係る繰越額の報告

平成十八年度関川村介護保険事業特別会計繰越明許費に係る繰越額の報告

地域交流及び企業誘致等 調査特別委員会視察報告

四月九日、東京都千代田区役所を訪問した。

千代田区は江戸時代から日本の中心地として発展してきた。江戸城の面影を今なお残す皇居。国会議事堂や政府省庁が集積する霞ヶ関、永田町。都心の魅力にあふれ、文化と伝統が息づくまち千代田区が全国的に注目された生活環境条例(路上喫煙禁止や空き缶などのポイ捨て禁止)、教育と文化のまち千代田区宣言、国際平和都市千代田区宣言、姉妹提携(群馬県嬬恋村、秋田県五城目町)等、当村の将来像に向けて見習うべき事が数多くあり今後の課題としたい。

千代田区は、区的大部分がオフィス街及び官公庁街であるため、純粋な住宅地は限られている。そのため、夜間人口は約四万四千人で二十三区中最も少ないが、昼間人口は約八十五万人までに膨れ上がる。

姉妹都市については、群馬県嬬恋村とは昭和六十三年に、秋田県五城目町とは平成元年に姉妹提携を結び、自然体験教室交流を始め、スポーツ交流、農業体験交流、祭りへの参加、冬期青年交流、総合防災訓練等の交流事業を行い、参加人数も単年度で千人を超えている。

千代田区役所にて



自立に向けた地域懇談会や

スキー場の今後などに

11議員が質問

関川村議会六月定例会は六月十四日に開会し、初日と二日目の二日間、一般質問を行いました。七月三十一日の任期満了を控え、十一人が登壇し、平田村政の所信をいただきました。

質問の内容は、合併から自立に向けて開催した地域懇談会の状況についてや、六月で契約が満了する「わかぶな高原スキー場」の今後についてなどの質問が相次ぎました。ここに発言順に質疑応答の概要を紹介します。



スキー場の契約今も有効か

近 辰 美 議員

近辰美議員 村長の三月議会の施政方針で述べた「わかぶな高原スキー場」の今後について、次の三点を質問する。

持ったか。三井住友と話し合った場所はどこか。「村と議会の総意がかみ合

わず大きな問題となった」とは何を意味するか。平田大六村長 当時、村

と住友建設の子会社、住建不動産で締結した契約は、平成元年三月二十九日に株スミコ・リゾートが設立されたため、同社と契約を締結。今年三月三十一日まで

の契約は満了したが、現状回復については、その責務

を継承している三井住友建設が、責任をもって果たすことになり、現在金銭解決に向け、話し合いをしている。地権者との話し合いは、平成十八年三月二十九日以来今日まで延べ十五回、三井住友建設とは六回ほど東京本社で話し合いをし、現在継続中である。将来、スキー場を閉じる際に、原状回復など村の財政負担を少なくするという説明をしてきた。この村長の説明が不十分であったため、議会に十分理解をいただけなかつたことを説明したもので、他意はない。なお一層のご理解をいただきたい。議会の皆さんと行政が一緒になつて村政を進めていかなければならないので、今後とも議員の皆さんとの懇談の機会などで意思の疎通を図りながらやっていきたい。



公共工事入札と観光施設整備

渡 辺 秀 雄 議員

昭和六十二年八月六日、当時の新野村長と住友不動産社長が取り交わした契約は今も有効か。今後のことについて地権者、三井住友建設とは何回話し合いを

渡辺秀雄議員 「公共工事の入札について」

二〇〇六年度の平均落札率は何パーセントか。過

去十年間の平均落札率は何パーセントか。二〇〇八

年度から小学校統合に伴う建設事業など億単位の事業がメジロ押しだが、今後入札の制度改革についてどのように取り組むか。「観光整備事業について」地域文化交流施設「ちぐ

ら」や「あいさい市」のオーブンなど効果が出ている。今年羽越水害から四十年目の年。大したもん蛇まつりも記念すべき二十年を迎える。羽越水害を風化させないため、また道の駅周辺の観光施設などへの波及効果を図るため、大蛇の展示場所を観光客の目をひく、身近に触れられる場所にすることを考えはないか。平田村長 「公共工事の入札について」平成十八年度の入札工事は六三件、平均落札率は九三・三五％。設計業務委託の入札は十三件、平均落札率は八七・六四％。過去の実績は五年間で平成十四年度二二六件、九七・四九％。平成十五年度二二八件、九七・六一％。平成十六年度七四件、九八・一六％。平成十七年度六六件、九八・三〇％。国・県の指導を得て、一般競争入札の導入を視野に入

ながら、村にとって最もふさわしい制度を確立したい。「観光施設整備事業について」 (次ページへ)

大蛇は八二メートルあり、これを展示するには長い場所を要し、予算の面から容易でないこと。わらで作ら

れているため、湿気に弱く特別な管理が必要であり、展示するにはきちんと管理しないとイメージが損なわ

れるということとで実現しなかった。観光客にアピールすることは重要なことなので、今後も検討したい。

など。医療費の助成は、病院医療費を就学直前までの引き上げを検討している。平成十七年度から進めてきた再整備事業は、今年度で完成する予定で、今年度は人の流れの変化を見ながら、歩道整備、案内板、駐車場の整備などを進める。本年オープンした地域文化交流施設「ちぐら」などについて、ご指摘いただいたように問題や課題がたくさんあり、その改善に努めたい。

らなければならない。質問に対しては、村の考え方として継続していきたいと伝

えている。この問題に対してアンケートなど現在では考えていない。



地域懇談会の成果

津野庄衛議員

津野庄衛議員 自立に向けた地域懇談会の成果は。国の「頑張る地方応援プログラム」を村づくりのために活用できないか。少

子化時代にいかなる支援策を打ち出すか。道の駅周辺をどのように整備するか。平田村長 九会場で参加者は人口の四%にあたる二八三人(うち女性三七人)。平成十五年実施の時とほぼ

同数になっている。視聴覚機材を利用するなどわかりやすい説明を検討したい。主な意見は「市町村合併」「経費の削減」「災害の避難場所」「統合小学校の跡地利用」「嫁・婿対策」「交通体系の見直し」など。ほとんどの会場で出た質問は「スキー場の今後について」で、スキー場の継続に

渡辺健作議員 五月二十一日から各コミュニティ単位で実施した「地域懇談会」について 各会場の雰囲気はどうであったか。自立に向けた取り組みに対する村民の反応は。スキー場問題に対する村民の考え方をどう取り込んだか。平田村長 皆さんが非常に熱心に聞いてくれ、活発

な意見をいただいた。今回は財政シミュレーションと協働という考え方の説明が主であり、和やかなというものではない。既に協働という意欲を十分にもっている地域もあったので、早急にいるいろいろな事例を具体的に示していきたいと考えている。スキー場については、意見を集約するとい

う目的ではない。各会場からは「今後どうなるのか」という質問があった。意見の中には「賛成・継続」という意見もあったが、「もうやめるべきだ」という意見もあった。この問題に限らず集約するという懇談会ではないので、この問題を集約するということになれば、ほかの方法・手段によ



自立の取り組みに村民の反応

渡辺健作議員



住民訴訟に 公金支出

山口和夫議員

山口和夫議員 住民訴訟の応訴に要する費用の公金支出について、村長は訴訟を提起した者が関川村を訴えたので、公金を使うのは当然と文書で答えているがその真意は。スキー場の施設が村に譲渡され、住友の保有する全株式が株えちごせきかわむらづくりに譲渡されて、社名が変更。村から財産の無償貸付を受けた。六月十三日契約締結日から二十年経過。村の借地権、賃借権が終了となり、現在は地権者以外立ち入りできない。村と地権者、

津野庄衛議員 自立に向けた地域懇談会の成果は。国の「頑張る地方応援プログラム」を村づくりのために活用できないか。少

子化時代にいかなる支援策を打ち出すか。道の駅周辺をどのように整備するか。平田村長 九会場で参加者は人口の四%にあたる二八三人(うち女性三七人)。平成十五年実施の時とほぼ

同数になっている。視聴覚機材を利用するなどわかりやすい説明を検討したい。主な意見は「市町村合併」「経費の削減」「災害の避難場所」「統合小学校の跡地利用」「嫁・婿対策」「交通体系の見直し」など。ほとんどの会場で出た質問は「スキー場の今後について」で、スキー場の継続に

な意見をいただいた。今回は財政シミュレーションと協働という考え方の説明が主であり、和やかなというものではない。既に協働という意欲を十分にもっている地域もあったので、早急にいるいろいろな事例を具体的に示していきたいと考えている。スキー場については、意見を集約するとい

う目的ではない。各会場からは「今後どうなるのか」という質問があった。意見の中には「賛成・継続」という意見もあったが、「もうやめるべきだ」という意見もあった。この問題に限らず集約するという懇談会ではないので、この問題を集約するということになれば、ほかの方法・手段によ

「継続して使ってほしい」ということで新しい契約書に調印をいただき、本日からその契約が始まっている。十人からは「現状回復して返還を」の文書をいただいた。原状回復については、金銭解決をめざして三井住友建設と話を進めている。平成十五年三月議会で自

(前ページから)
立の方針を打ち出し、同時に議会として合併は時期尚早ということであった。以来、村づくり推進本部を設置し、村内五十四集落で意見を聞き、新しい村づくりの規範となる「村づくり条

例」を制定。村のすべての事務事業を洗い直し、全庁的に取り組んで進めてきている。

を中心に検討させていただく。新しい統合校の設計には安全・安心の考え方を盛り込みたい。この施設は平成五年、新潟県山間地域総合振興対策モデル事業として建設されたものである。本年度から使用しないということと返していただいた。使用されないことは残念であるが、村の観光面においても価値ある施設であるので、使用面を検討の上、希望する方によつていただく。ホームページなど利用して広くPRしていく。



統合小学校の安全面強化

高橋 八 男 議員

高橋八男議員 平成二十二年四月から村に新たな小学校が生まれ、関川村全域の児童が一つの学校で学ぶことになる。統合時の新設校舎の安全面強化は必要不可欠である。周囲に不審者侵入防止フェンス、モニタ

ーテレビ、防犯センサーなど設置し、安全面強化を図る考えはないか。四月に漁協(上流区)でカジカの養殖が中止され、現在空家になっている。カジカ養殖センターを利用して、数少なくなつた魚や水中昆虫の

養殖をする考えはないか。平田村長 児童生徒の安全・安心について、幾つか具体的な提案をいただいたが、それらの防犯設備が運用上どのような問題点があるか検討しなければならぬ。今後、学校関係者など

を



自立に向け職員教育

大沼 文 夫 議員

大沼文夫議員 関川村は自立に向け進んでいる。自立していくには財政と人材が必要と思う。村の職員にさまざまな教育を受けさせ、諸問題に率先して指導に当たることは、村の最善の活性化になるのではないか。職員には常に刺激を与え、

頼れる指導者となるよう望む。職員管理者教育を受けさせる考えは。一、二年職員を他の自治体など外部に派遣し、外から村を見るなど人材を育成したらどうか。県から職員を派遣してもらおう考えはないか。平田村長 村の財政を安定

させるため職員を削減しなければならず、最盛期に百四十人の職員が現在百二十一人。平成二十五年度末には施設関係を除き約六十人で村行政全般を運営することになる。職員の資質向上のため、さまざまな研修を行つてきている。昭和五

十八年度から数年間、静岡県



AED(自動体外式除細動器)の配置状況

津野 恵 輔 議員

津野恵輔議員 心臓発作などによる心停止のときに、電気ショックで救命措置する自動体外式除細動器(AED)で、一命をとりとめたという報道をよく聞き、前々からこのことに関心を持っていたが、関川村の状況と配置する考えは。自立に向けた懇談会の結果、参加した一部の村民の声によると「充実した会合であった」「残念なことに少し時間が足りなかった」という話を聞いた。村民の村政に対する関心も深まっている。今回の懇談会の概要に

ついて伺いたい。大島や女川保育園の統合についての計画はどうなっているか。平田村長 AEDの村内に配置している施設は、関川診療所に昨年一台設置した。今年度は七月一日から村民会館へリースで設置を予定している。使用方法が難しいようであるので、今後は消防署の職員らを講師にして、村の職員、村民会館を利用する団体などに熟知してもらつことが重要である。村内の民間施設では、一つの施設で準備する方向で検討しているという。今回、地域懇談会で説明したテーマや内容について、村内の各種団体・機関・組織の会合などでも機会をいただきお話ししたい。今回のテーマに限らず地域の懇談会は重要であると感じている。保育園の統合の日程は、まだ上げていない。当初の計画では二つの保育園を一つにする基本計画があるが、三つを一つにという声も聞いているが、現在のところ日程は決めていない。



スキー場閉鎖が得策

小沢寅右衛門 議員

小沢寅右衛門議員 土地契約期間が平成十九年六月までとなっている「わかぶな高原スキー場」について、村長は地域懇談会での質問に「今後も運営する」と答弁している。地権者との話し合いはどのようになっているか。六月末、契約が守れなく、地権者から損害賠償を請求されたときはどうするか。三井住友建設から受ける撤去工費はどのようになっているか。早急に閉鎖した方が、現状維持によって村費を支出し続けるよりも得策だと思いが。平田村長 地権者の意見は「継続したい」「貸したくない」の二つに分かれており、引き続きお願いしていく。地権者三十一人のうち三分の二の方は村と五年間の契約を締結した。損害賠償請求の損害が何に当たるかはよくわからないが、仮に原形復旧しなかったということであれば、契約で



「合併すべき」の意見は

伊藤理助 議員

伊藤理助議員 財政シミュレーションを作成して、地域懇談会を開催した結果、村民の反応はどうだったのか。「自立でなく合併すべきだ」という強力な意見はなかったか。協働ということ、村と地域が一緒にやることはいいことだと思いが、難しい面も多々出てきている。職員が積極的に参加し、村民を引っ張っていくよう指導してもらいたい。他の協働の事例があったら紹介してもらいたい。平田村長 「自立して大丈夫か、不安はないのか」という質問はどの会場でもあった。財政シミュレーションを示し、「財政は大丈夫です」と答えてきた。「合併しよう」という強い

存在価値は・冬の観光イメージ・温泉観光地の経済効果・物資、食材の納入効果・雇用の場の提供・スポーツ教育などである。継続希望提案の意見やメールもあり、継続は村民も大きな希望をもっているのが現実である。これから五年間徐々に幕を引いていきたい。意見はなかった。住民投票の意見もあつたが、これだけでなく何らかの際にアンケートは実施できるのではないかと考えている。協働について具体的なものは持つていないが、村内の集落で防災訓練を自発的にやっていたり放課後の子供をジャンパーを作つて守つていたりなど紹介した。このことで部内でも具体的なものを用意して意欲を持つてい地域の方にお答えしたい。職員の地域行事の参加についても意見があつた。地域の一員として活躍するように機会あることに話したい。

大沼久夫議員 村の一人当たりの医療費が、他市町村に比べ突出して多いということ、厚生労働大臣から高医療費指定市町村に指定された。十八年度には基準を下回つたとされたが、国保特別会計予算では、まだ高額となっている。「健康せきかわ21」によると、具体的対策の食生活項目で、朝食を欠食する子が六・三%から一・五%あるとなつていたが、現在どのように改善され、対策としてどのような実践活動をしているか。地域医療体制について、



朝食欠食児童とその対策

大沼久夫 議員

高齢化の進展による在宅介護の急病や、特に夜間は医師不足で往診は望めず、救急車に頼つていのが現状である。昼夜診てもらえる医療体制の整備・確保について伺いたい。平田村長 平成十七年三月に「健康せきかわ21」を食生活・運動・たばこの三つの柱でつくつた。朝食の欠食率は、小学生で八・五%、中学生一〇・五%と前年より若干パーセントが減つている。対策として給食の時間を利用して指導、学校だよりや給食だよりを活用して啓蒙している。朝食を欠食する子の割合は、若干改善されてきている。健康づくりの効果は五年から十年先といわれている。村民の協力を得ながら進めていきたい。村の医療体制は、診療所と開業医の二カ所、夜間の対応はできていない。将来に備えて、診療所を充実させる考えはあるが、夜間体制の充実できるところまではいかない。今後は広域的な医療懇談会などの場で夜間の体制など働きかけていきたい。

荒川郷町村議会議員協議大会 神林村

関川村、荒川町、神林村、三町村議会議員で構成する議員協議大会が、神林村を会場に六月一日、地元選出の国会議員、県会議員、国・県の出先関係者、関係の町村長を来賓に招き盛大に開催されました。

この大会は、荒川郷の懸案事項の早期実現と整備促進、地域住民の福祉向上に大きな役割を果たしてきた伝統ある大会です。今大会に各町村議会からの提出議件は全て採択しました。

前年度要望に対する関係機関の処理状況の回答

一、国道二九〇号の改良整備の早期完成について

国道改築事業（桂）小長谷バイパス工区）

平成十八年度は、地質調査を実施しました。平成十九年度は内示がありませんが、引き続き予算要望を行ってまいります。

二、県道大栗田越後下関停車場線及び、県道黒俣越後下関停車場線の整備促進について

(1)大栗田越後下関停車場線
平成十八年度に、旧橋撤

環境整備の促進について

(1)荒川流域砂防事業の促進について

・女川第四号砂防えん堤」の促進について

平成十九年度は引き続き法面対策を実施、本えん堤コンクリートの打設に着手します。

・田麦砂防えん堤」の促進について

平成十九年度は副えん堤及び流路工を実施し完成を目指します。

・大沢砂防えん堤」の促進について

平成十九年度は砂防えん堤の完成を目指します。

(2)横川ダムの早期完成について

平成十九年度は、建設年度の最終年度として、残る管理設備工事、周辺整備工事、付替道路工事の諸工事の完成を図り、平成二十年四月から管理に移行する予定です。

(3)荒川本川の水衡部対策の促進について

四、治水・砂防ダムの整備促進・荒川本川の局所洗掘対策・低水護岸・高水敷の

局所洗掘が進行している

区間については対策を実施してきた。平成十七年度には、雲母地区で、水制工二

基を施工したが、今後も監視し、所要の対策を実施します。

(4)荒川左岸下流桜づつみモデル事業の早期完成について

平成十八年度まで予定の造成工事ができたので、平成十九年三月に竣工式を終えました。今後も要望があれば、お応えしたい。

五、県営農地環境整備事業（玉郷立地区）の新規採択について

平成十八年度から県単調査計画に着手し、本年度で終了の予定です。平成二十年の新規採択を目指しています。

六、県営ため池等整備事業（用排水施設整備）の早期完成について

「下関地区」については、十四年度に採択され、昨年度で一期地区が完了した。今年度から二期地区に着手し平成二十三年度完了を目標としています。

表彰

荒川郷町村議会議員協議大会において、左記の方々が表彰されました。おめでとうございました。

特別功労者

津野 庄衛 議員

永年勤続者

・八年
津野 庄衛 議員

・十二年
津野 恵 輔 議員

小沢 寅右衛門 議員

大沼 久夫 議員

高橋 八男 議員

中倉 虎治 議員

・二十年
近 辰美 議員

・二十八年
山口 和夫 議員

【編集後記】

村議会、今期最後の定例会ということもあって、一般質問に十一名が登壇し活発な論戦を展開しました。内容として、地域懇談会に関するもの四件、わかぶな高原スキー場関連三件と多くを占め、村民皆さんが関心をよせている問題が質問されました。

この二年間、六名で広報特別委員を担当してきましたが、思いどおりの編集ができなかったことを反省しています。議会だよりを読んでいただきました皆さんに感謝申し上げます。

